



「瀬戸外国人の健康」

2014年で7年目、在日外国人の健康チェックや健康相談も、地域の自治会や組合員さん他病院の医師も含め、医師・看護師・リハビリ職員などと協力し合って毎年実施しています。健康チェックサポーターがたくさんいるから、いつでも体制が整います



健康チェック

地域のどこでも健康チェック。スーパーの玄関横でも、イオンモールのコートでも、みなさん、南医療生協の健康チェックコーナーを無料で開放してくれます



たからブロック

たからブロックでは、2011年5月から地域の人々が朝8時に集まり、日祝日以外の毎日、ラジオ体操と南医療生協オリジナルの「タオル体操」に取り組み、その後いっしょに喫茶する仲間づくりもはじまり、常連だけで40人、全体では毎日50～60人の健康づくりが広がっています。つながりで「絵手紙」など班づくりもすすんでいます



「のびのびすくすく子育て支援運動」=のびすく運動 子育て広場:6ブロック14箇所

「のびすくの会」は子育て応援団です。現在103人登録。産後の兄弟の子守り・買い物の手伝い・保育園などの送迎・子育て相談などをします

みな1000運動

(みんな1000人職員紹介運動)

07年度～スタート

- ①紹介総件数:2337件⇒ 248名採用
- ②職種別 医師:224件⇒ 40名採用
看護師:811件⇒ 77名採用
介護職:563件⇒ 105名採用



市民の協同でつくった 最近10年ほどの事業所づくり



最近15年ほどの市民の協同づくり

①2002年「生協ひまわり歯科」



こは、知多市の「生協ひまわり歯科」。2002年の開設に向け、地域組合員が職員と連日、地域を訪問。開設までに、組合員255人と、出資1000万円、そして、診療予約患者を確保。初年度から黒字

最近15年ほどの市民の協同づくり

②2003年「百人会議」



「百人会議(介護事業推進会議)」は1年開催。協同組合らしい、まちにとけこみ・まちとふれあう介護事業所づくりに向け、本格的な市民・組合員交流を毎月定例公開



組合員自身が700人を前に、自分の言葉で口々に訴えた「立村集会」

「百人会議」は、「あれがほしい、つくってほしい」ではなく、「どうしたら自分たちで実現できるか」を真剣に話し合いました。それを、劇仕立てにした「立村集会」。700人の市民を前に、組合員自身が、口々に訴え、生協らしい介護事業所づくりにつなげました



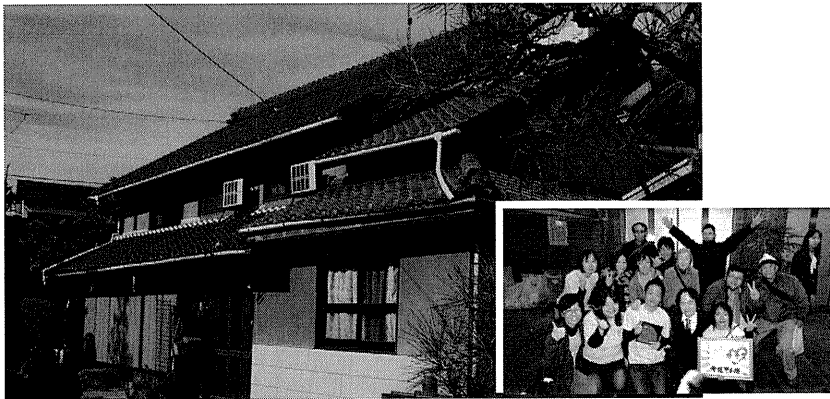
地域をチャリンコで回り、空き家探し。物件が見つかりと大家さんと交渉



自分たちのことは自分たちの地域の協同で実現するという「百人会議」の姿勢に共感した星崎ブロックの組合員さんたち。自転車にまたがり、地域をみんなで「チャリンコ隊」を編成。空き家を見て回り、ご近所どうしの大家さんと家賃交渉も自分たちで

最近15年ほどの市民の協同づくり

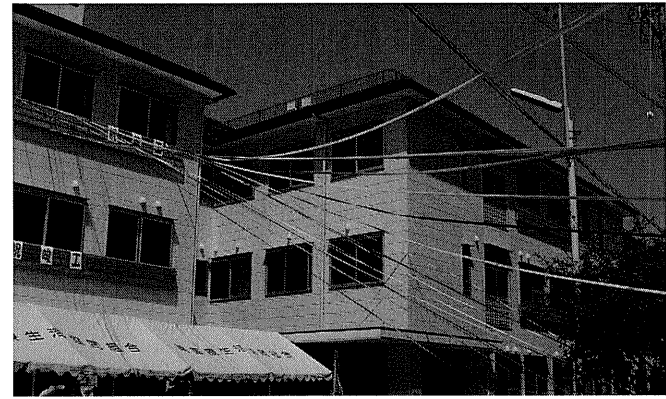
③2004年「グループホームなも」



それがかたちになった「グループホームなも」です。見つけ出した空き家を改修して「まちにとけこむ」介護施設になりました。ボランティアでも活躍しています。2011年度・2012年度、「介護甲子園大会」優秀賞を2年連続して受賞、地元ラジオが取材

最近15年ほどの市民の協同づくり

④2005年「生協ゆうゆう村」



おなじく、「生協ゆうゆう村」は敷地600坪以上。地元企業社長さんから「地元役に役立つなら」と格安で土地を提供。デイサービス・ショートステイ・多世代共生住宅・地域交流施設など

最近15年ほどの市民の協同づくり

⑤2006年「千人会議」開始



「百人会議」の地域協同・市民協同は、病院づくりにも。緑区大高の自治会や土地区画整理組合などの要請で新築移転に。「千人会議(新南生協病院建設推進会議)」は4年間45回開催。「10のゾーン」にこだわり、市民参加の総合病院づくりを実現



一方、南生協病院がなくなる名南ブロック。住民のみなさんの不安・不満を繰り返し受け止めながら、これらのみなさんからもたくさん出資を預かり、かなめ病院の拡大・リニューアルを「1億円増資」で見事達成。すごいでしょ！！！！

最近15年ほどの市民の協同づくり

⑥2007年「小規模多機能ホーム もうやいこ」



「グループホームなも」に続き、「小規模多機能ホームもうやいこ」開設も、地元組合員が、出資金も、職員・ボランティアも、日用品も、利用者さんも集めた、身の丈に合った事業所づくり、事業運営です

最近15年ほどの市民の協同づくり

⑦2008年「老健あんき」



「老健あんき(29床・全室個室)」開設は、老朽化した星崎診療所の新築移転とセットで併設。「なも」「もうやいこ」と同じブロック。「要求追求」ではなく、自分たちでつくる「要求実現」の大きな協同に広がっていきました

最近15年ほどの市民の協同づくり

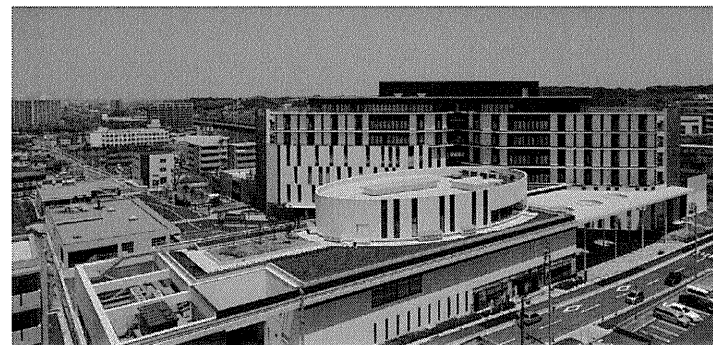
⑧2009年「生協のんびり村」



「生協がつくる」のではなく「生協でつくる」協同による事業所づくり、まちづくりが続き「生協のんびり村」は敷地800坪以上。地元組合員からの土地の提供を受け、グループホーム・小規模多機能ホーム・多世代共生住宅から喫茶・畑まで多角運営

最近15年ほどの市民の協同づくり

⑨2010年「南生協病院」新築移転オープン



2006年の「千人会議」から4年。「総合病院南生協病院」が2010年3月23日オープン。この間、新たな加入1万6千人、増資12億円、支部28増、活動班264班増など、数字の上でも市民の協同が広がっています

最近15年ほどの市民の協同づくり

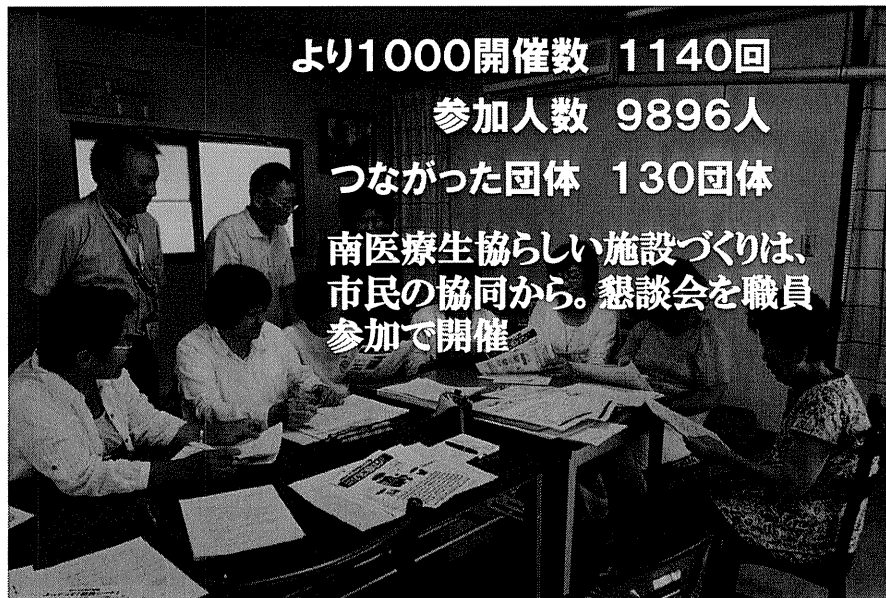
⑪2012年「10万人会議」



「10万人会議（南医療生協近未来事業構想会議）」が2012年4月スタート。地域支部・事業所のみなさんが毎月大勢参加。テーマごとに話し合います。



2013年5月南医療生協の近未来構想を交流した「10万人会議」の開催中に、名古屋市から南大高駅前の公用地活用の公募があり、検討してきた内容に基づき応募したところ、最優秀事業者として選定されました



より1000開催数 1140回

参加人数 9896人

つながった団体 130団体

南医療生協らしい施設づくりは、
市民の協同から。懇談会を職員
参加で開催

趣味のサークル、NPO、自治会・町内会・行政にもつながり、懇談会・訪問・立ち話などで、対話を広げ、13年9月～3月末で開催数1140回、9896人、130団体とつながる



竣工した「南生協
よって横丁」の
オープンまつり20
15年4月1～5日



64事業所と86支部のネットワーク

地域との協同の営みによって、急性期総合病院(313床)・回復期リハビリ病院(60床)・7医科診療所・3歯科診療所・5訪問看護・7訪問介護をはじめ、医療・介護・くらし助け合い事業など64事業所を運営する、くらしのネットワークをつくっています

市民参加の事業所づくりで 担い手広がる

- ①03年度より35事業所を市民参加で開設
- ②どんな事業をつかっていきたいか徹底討議
- ③開設目標に拘って何度も地域訪問
(加入・増出資・支部・班づくり・ボランティア)
- ④市民参加に拘ることが当事者意識を育む
- ⑤スタートよりボランティア体制がスタート

14年度南医療生協のボランティア

	グループ	人数
病院・診療所	15	355
介護事業所	8	55
地域・まちづくり	3	131
合計	26	541

南医療生協には26のボランティア

1、ボランティアの内容

■南生協病院 総合案内ボランティア、図書室ボランティア、緩和ケア病棟ボランティア、病棟ボランティア、緑化ボランティア

■各診療所 デイケア・グループホームなどで活躍

■地域ボランティア 「ほしざきボランティアの会」(2013年)、名南ブロック「男塾」、東海市ブロックの「ささえあい仕事人」

2、ボランティアの性格

生協運動と同様、自分の「自己実現・自己啓発」だから、自発的・無償。活動資金は物資販売などでプール

新たな協同組合の品質づくりにチャレンジ!!

南医療生協の考える「良い医療・良い介護」4つの指標 (2011年度総代会)

- ①社会的な水準が確保されている
- ②不必要なことは行なわない
- ③納得と同意に基づいている
- ④地域に「ささえあい・たすけあいのネットワーク」がある

ほどよいおせっかいで結ぶくらしの協同



南医療生活協同組合

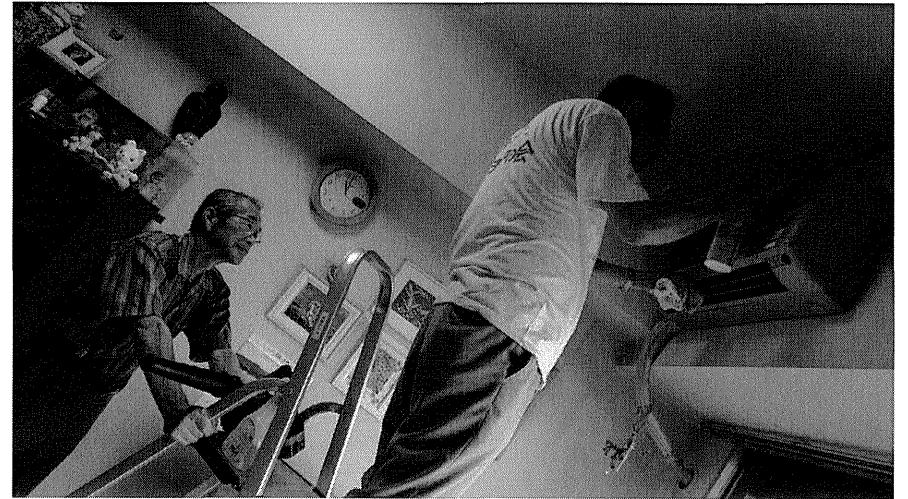
どなたがどのような事に困っていて、どんな手助けを希望しているのかを具体的に記入しましょう
 ご本人またはキーパーソンの了承をいただき地域ささえあいセンターへFAX(052-625-0653)またはコピーを提出します
 下記②と③の部分が個人情報に当たりますので、取り扱いに注意しましょう。対応が終了したら廃棄しましょう。
 依頼される方は太線ワク内①～④、地域ささえあいセンターは②～③、対応される方は④～⑥

① 今回の使用目的				<input type="checkbox"/> 依頼	<input type="checkbox"/> 経過報告	<input type="checkbox"/> 結果報告
② 困っている方は	大昭平	年月日	歳	TEL	男・女	
	氏名			フリガナ		
南生協(組合員本人・家族・未加入) 住所						
③ 情報提供者	氏名			関係など		
	住所			電話		
④ 困っていること						

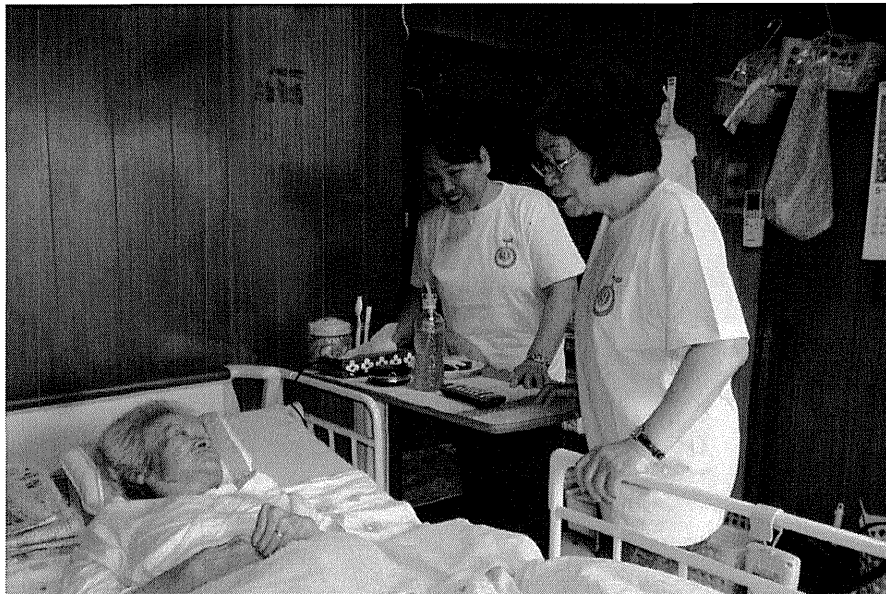
「おたがいさまシート」は、2012年度からはじまった「ささえあいシート」から進化した、「おたがいさま運動」の便利グッズ。ご近所・班・支部・病院・診療所・介護事業所をネットワークで結ぶ、言わば「お助けメッセージ」です。2015年度から活動開始です



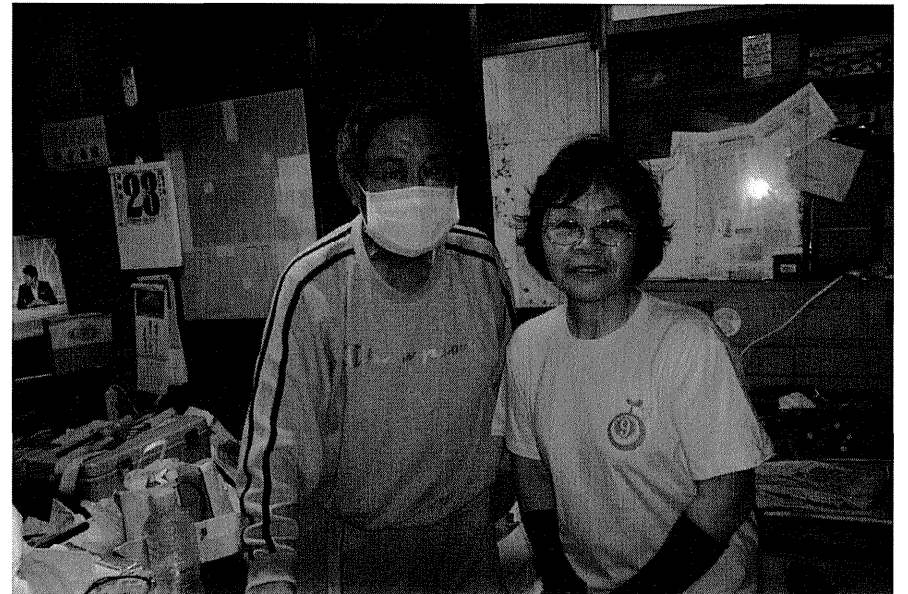
南医療生協のボランティア活動は、すべて自前です。現在、会員は47人。制服も定例の集まりのときに、みんなでつくりました



エアコンの冷房がうまく効かないとのこと。見ると、ゴミがたまっている事が分かり、さっそく、清掃にかかります。15分で無事完了しました



いろんなことを、気軽に話せるのは、ご近所どうしの「お互いさま」だから。「お互いさま」の取り組みに、「利用料金」は介在しません



腹膜透析がはじまり、自宅の整理整頓がうまくできない人のために、「ひと肌」脱ぐこともあります



ひとりの「困った」に、ご近所や、南医療生協が、「おたがいさま」のおつきあい



名南ブロックの班会「男塾」。くらしの協同のいとなみが苦手な男性をなくそうと、決然立った男性陣のいこの場。まちのすみずみを応援しています。



①K医師より「近くのスーパーが1月末に閉鎖。地域で買い物できなく困っている」⇒②「おたがいさまシート」⇒③地域の理事さんたちが相談⇒④移動販売の豆腐屋さん「OK」+⑤「お惣菜・野菜の移動販売」の方も「OK」⇒⑥2月17日から毎週(火)星崎診療所駐車場にて「移動販売スタート」⇒⑦町内会長「そんないいことは回覧板で回します」＝「一人の困った」に寄り添うと、結果みんなが助かる！「おたがいさま運動」



事例3。83歳女性、独居。ケアマネより「訪問したら、食べるものが何もない。お金もない。電気も切られている、地域包括支援センターに相談しても、介護保険料を滞納しているから介護サービスは受けられないと言われた。どうしたらいいでしょう」⇒「組織担当はすぐ担当理事と相談。とりあえず、社会資源につなげるまで、地域の人みんなで、支えましょう。とりあえず、懐中電灯2本もって、今日の夕食をなんとかしましょう・・・」

おたがいさまシート441件

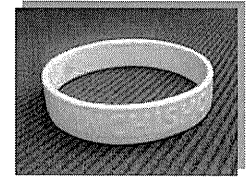
(12年度52件、13年度90件)

14年度165件(15年度134件※1/8現在)

対象者分類	307	要因分類	307
①高齢者	224	①くらしの不安	162
②障がい者	16	②趣味	24
③子ども	7	③情報提供	25
④外国人	2	④受診・治療	28
⑤病状	22	⑤トラブル	2
⑥その他	36	⑥身辺改善	66

おたがいさまサポーターを地図に

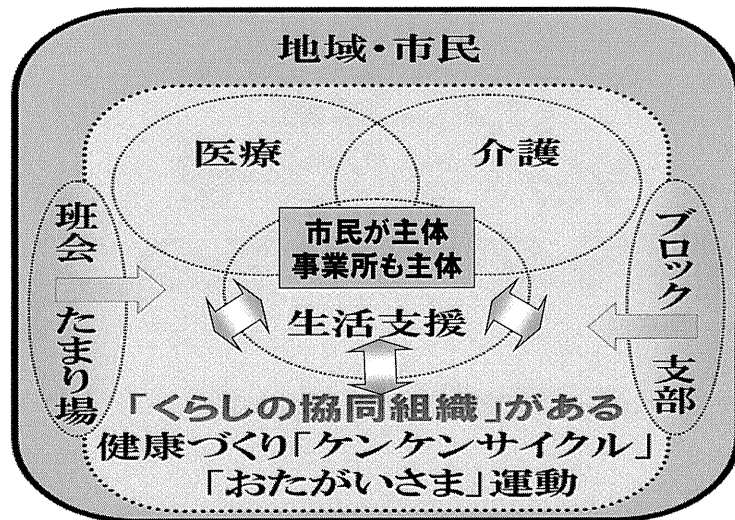
■ ...世話人さん
■ ...認知症サポーター ※下図は千鳥南北支部の一部



認知症サポーター養成講座の受講者は『オレンジリング』が授与されます。

そこでみなあん会議で、世話人さんとオレンジリング取得者を各支部ごとの地図に落としました

南医療生協の「地域包括ケアシステム」は市民参加のまちづくり



まとめ

- 生活協同組合は「くらしの協同組織」です。
- 市民自治に基づき、おたがいさまの取り組みをひろげることにこだわれば、医療・介護・福祉などの事業活動も、「くらしの視点」で営むことができます。
- 「くらしの協同」に基づく地域ネットワークは南医療生協のまちづくりそのものであり、「地域の人々が主体的に参画する地域包括ケア」です。

2015年度 南医療生協のスローガン

くらしの安心ひろがる
あったかだんらん
まちづくり

ご清聴ありがとうございました

高齢者の現状分析

- 老いる準備に地域力は欠かせない
- 人口減少が進む。特に生産年齢人口の減少
- 一人暮らしの高齢者が増えている
- 地域での付き合いはどうなっているか?
- 介護保険; 加齢に伴って認定者も利用者も増えている
- 介護のため毎年約10万人が離職・転職している



プロの住民 「ライフサポーターの養成と活動について」

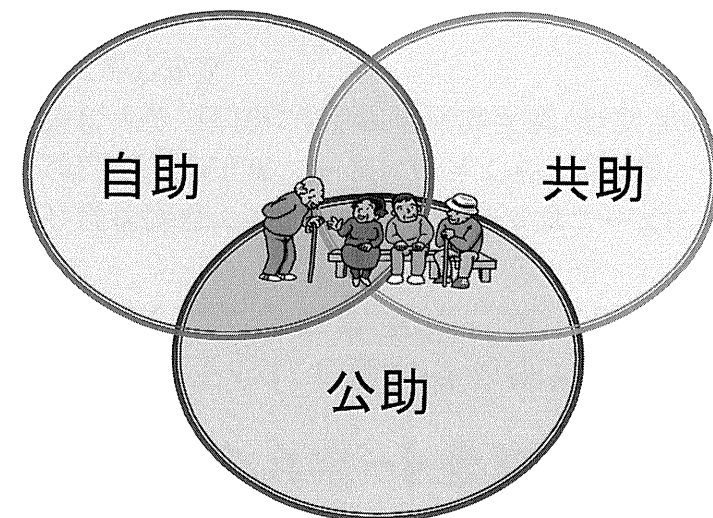
NPO法人 校舎のない学校

井口 明

2016.1.15



私たちの日常生活



ライフサポート事業の成り立ち

団塊の世代を「プロの住民」に

共助とは・・・

- 近隣の助け合いやボランティア等、インフォーマルな支え合い活動

ライフサポート事業も その一つ的手段



ライフサポート事業とは

だれもが安心して暮らせる地域を作るための住民による生活支援組織である。

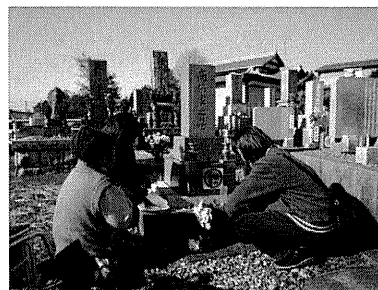
介護保険等では対応できない様々なニーズに対して、それらのニーズに応じてサービスを提供する、住民による相互扶助活動（共助活動）のことである。



活動内容：何をやるのか

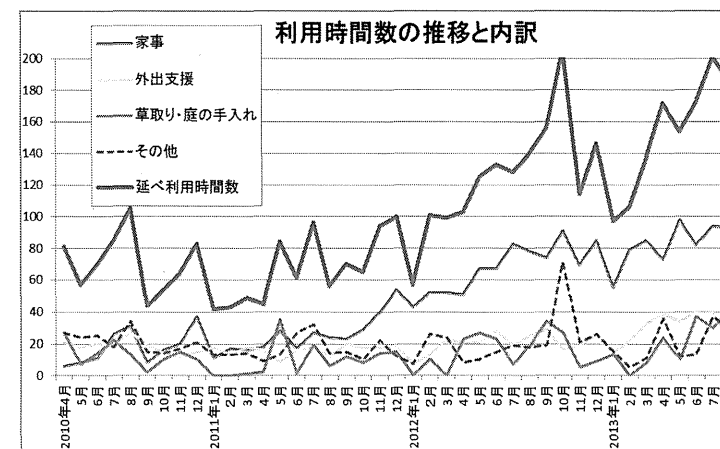
【サポート例】

- 1、家事援助：掃除、洗濯、調理、買い物代行
- 2、外出支援：通院介助、買物の付き添い、墓参り、散歩の同行他、
- 3、家の外回りの支援：庭の草取り、草木の手入れ・剪定他
- 4、その他の支援：衣類の入れ替え、ゴミ出し、安否確認、話し相手、大物家具の移動、ペットの世話...





ライフサポートつつみ(大垣) 利用時間数の推移



【対象者】

- ・要介護者、虚弱高齢者など、自宅等で暮らすなかで不便・不都合を感じ、困っている人

【サポーター】

- ・退職後自分の時間を活用したい人、
- ・地域活動に興味がある人、
- ・人の役に立ちたいと思っている人...

【活動時間】 月間 大垣市200時間ほど

サポーターになるまで:ライフサポート福祉講座

- ・介護保険の制度概要、障がいの理解、認知症の理解、コミュニケーション等を学ぶ
- ・先輩のサポーターとの同行実習もある

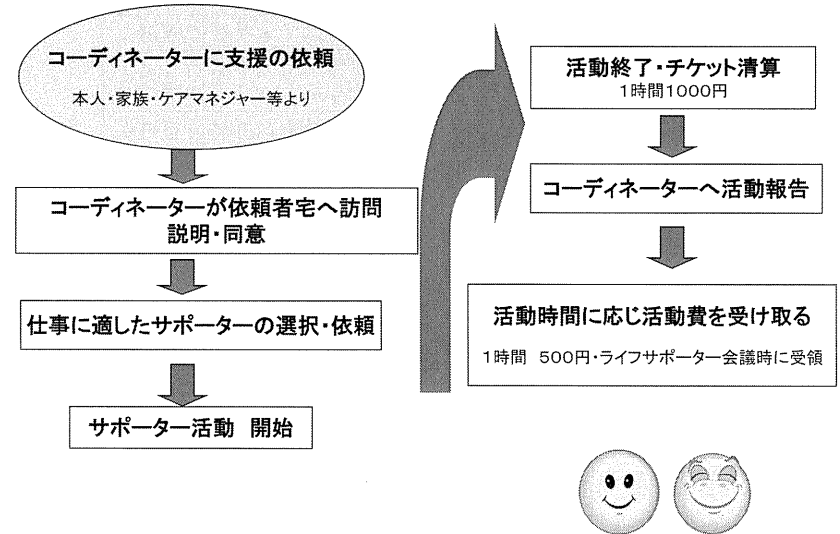
日にち	カリキュラム	時間数
1日目	ライフサポート事業について 日本の現状とライフサポーターの役割	2時間
2日目	お世話の基本	2時間
3日目	認知症の理解	2時間
4日目	コミュニケーション	2時間
5日目	障がいを持つということ	2時間
6日目	ライフサポートの基本・訪問マナー 困った時の対応	2時間
7日目	実習オリエンテーション・講座の振り返り ライフサポート活動同行実習	2時間
8日目	修了式	2時間

コーディネーターになるには： コーディネーター養成講座

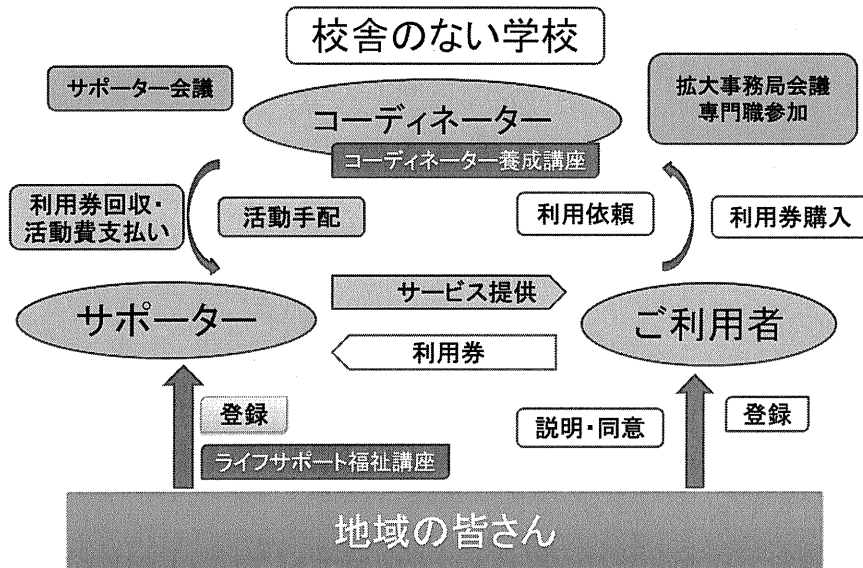
- ・ ライフサポート活動のかなめとなるコーディネーターを養成する講座
- ・ 養成講座では、制度や事業の概略、障がい特性や心理的理解を踏まえ、コーディネーターとしての実践力を習得する

	カリキュラム	時間数
1日目	コーディネーターの役割	2時間半
2日目	相談業務の基本	2時間半
3日目	コーディネート業務	2時間半
4日目	コーディネート実習	2時間半

サポート活動が始まります



サポート活動のしくみ



ライフサポート活動の継続

活動の継続には理念を共有した
サポーターの育成が必須

活動を継続するために必要なこと

1、理念

心身に障がいがあっても、自宅で、地域で、自分らしく尊厳をもって自立して暮らす

⇒利用者も支援者も互いにプロの住民になろう！

(村田幸子さん曰く)

2、学び合いながら成長するサポーター

そのために必要なのは継続した学習の場

- 1) ライフサポーター会議：月一回
- 2) 拡大事務局会議：月一回
- 3) トピック毎の学習会：年に数回
- 4) 福祉専門職との連携



3、良質のサービス提供により築く 利用者との信頼関係

利用者の声

- 自宅で普通の暮らしを続けることができる
- ヘルパーさんに頼めないことをやってもらえる
- 生活の継続のための選択肢が広がる
例えば大切な猫と一緒に自宅で暮らし続けられる
- 自分も家族も安心できる、相談できる
- サポーターさんと話すのがとても楽しみ
- 趣味を続けることができる
- 自宅で、できるところまでやってみて、
どうしても無理なら最後は施設入所もやむを得ない



在宅生活の継続

サポーターの声

- 新しい仲間が沢山できた
- 誰かのためになっているという実感が持てた
- 新しい知識や考え方が持てた
- 自分自身が健康になり、元気になった
- 生きがい、やりがいを得られた
- これからの自分の生き方のヒントを得た
- 自分自身の意識や物事の捉え方が変わった
- 社会の動きに関心が出て来た



結果として、介護予防になっている



サポーターさんのご紹介

- **Aさん**：62歳、女性、活動歴7年、夫・母同居
54歳まで銀行で働くが、父の病気看病を機に退職。「社会とのつながりが必要」と感じてサポーターになる。通院介助、買い物、掃除等担当。
4年前から「コーディネーター」を務める。「自分が地域で最後までどう生きるかを学べて本当のためになる。」

Bさん、69歳、男性、活動歴6年、妻と二人暮らし

- ・認知症に関心があった。自分の母も妻の母も長生き。認知症気味。認知症の勉強しようと思ひ講座に参加。
- ・講座終了後も何か人のためになることをしたいと思ひ活動に参加した。
- ・通院介助、庭の草取り、大掃除、旅行の付き添いなど。
- ・会社員時代には味わえなかった「楽しさ」を感じている

Cさん 76歳、女性、活動歴6年

- ・夫と二人暮らし、近くに娘夫婦が住む。娘夫婦の子どもたちの面倒を見ながら、さまざまなサポートを行っている。
- ・ゴミだし、掃除、回覧板：週回2～3回（90代女性の家へ）
- ・68歳まで仕事をしてきた。観光業、鉄工場、建設会社...その経験が生きている。
- ・現在はコーディネーターとして活躍中

これまでの活動で分かったこと

1. 素人集団にしてはとても良いものができた
 - ・会員に活動意義も理解され、ある程度の規模まで成長した
 - ・地域社会、利用者にとっての新しい社会資源となってきた
 - ・活動するサポーターにとって生きがいになり、介護予防にもなっている
 - ・やりがいは金銭に関係ないが、継続には必要である
 - ・社会情勢や社会の仕組みなど学び合うことで人として向上することは継続するためには必要である。



素人集団にしては良いものができた!

【成功の要因】

- ・専門家との連携
- ・学習の継続
- ・トップダウンでなく何事も話し合っで決定する
- ・活動や話し合いが「楽しい！！」の実感
- ・一人、一人が自立した「個人」として連携する
- ・社会を支え、社会を創っているという自覚

活動の拡大の必要性

・大垣市の片隅でつましく活動する組織から
時代の要請に応えられる広範な面的拡大が求
められる



活動に参加したくてもキッカケが掴めなくて
活動に入れない層

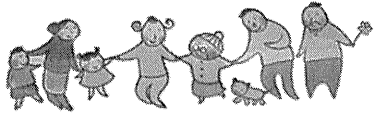


この層を取り込むためには、どうしたらよい
か？ → NPO法人の活用

ご清聴ありがとうございました。



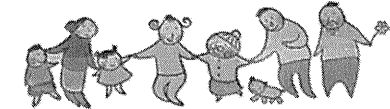
～介護・ラ針盤が専門性を活かし
多職種連携によって
在宅の限界点を引き上げる～



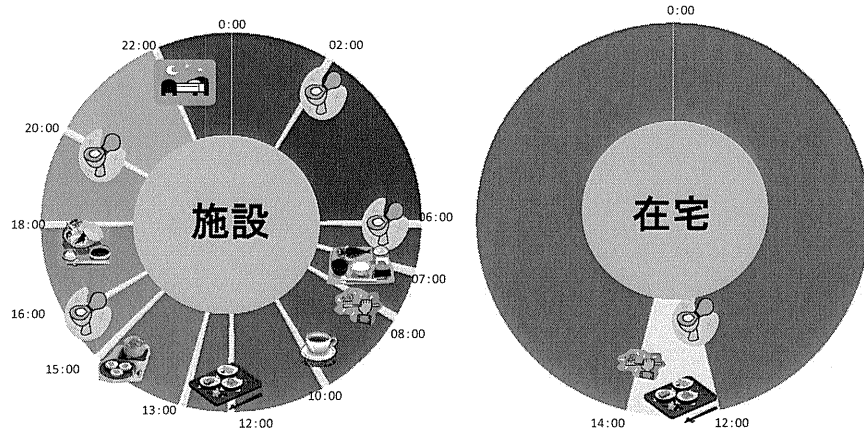
2016.1.15 (株)新生メディカル
藤井 尚子

【本日の内容】

- 1、「介護・ラ針盤」とは
 - ・生まれた社会背景と目的
- 2、ライフサポート利用事例より
 - ・その効果検証
- 3、それぞれの専門性を活かした多職種連携が
人材不足の一助となる



施設と在宅の一日

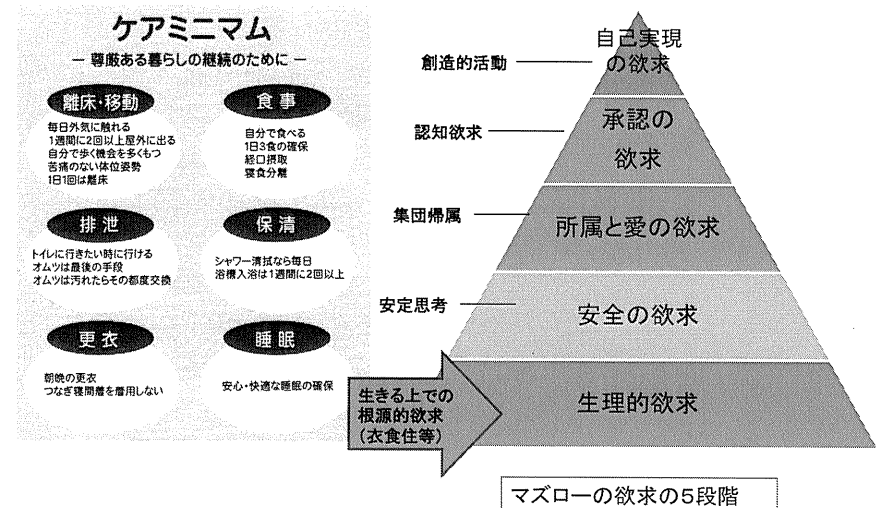


1日に2～10分で必要なケアが何回も受けられる

1日1回だけのケア

どちらも合計2時間

生活の質の確保



ケアミニマム チェックシート			
利用者氏名	性別	年齢	世帯構成
日常生活自立度		認知度	記入担当者

No.	大項目	小項目	「必要選択した項目をお答えください」				結果	
			現状	能力評価	意欲	意欲		
1	睡眠	① 自分で寝内を移動している	① 自分で移動している問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
		① 毎朝目覚ましに起れている	① 自分で起れている問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
		① 毎朝目覚ましに起れている	① 自分で起れている問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
		① 1日1回は起床している	① 自分で起れている問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
2	食生活	① 自分で食べている	① 自分で食べている問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
		① 1日3食の確保ができています	① はい ② いいえ	① 家族が足りている ② 家族が足りていない ③ 不明				1
		① 食生活が分離している	① 自分で食べている問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
3	生活	① 日常生活が自立している	① 自分で生活している問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
		① 日常生活が自立している	① 自分で生活している問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
		① 日常生活が自立している	① 自分で生活している問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
4	排泄	① 毎日、洗濯をしている	① 自分で洗濯している問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
		① 毎日、顔を洗っている	① 自分で洗っている問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
		① 毎日、髪を(髪剃り、整髪)している	① 自分で髪を(髪剃り、整髪)している問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
		① 毎日、歯磨き(歯磨き)している	① 自分で歯磨き(歯磨き)している問題がある ② ②以外	① 行っていない ② 一部介助を受けて行っている ③ 全介助を受けて行っている	① 自分でできる ② 一部介助が必要 ③ 全介助が必要	① あり ② なし ③ わからない	2	
5	その他	① 夜間、安心・快眠な睡眠(6-8時間以上)が確保できている	① はい ② いいえ				1	
			① はい ② いいえ				1	

現状

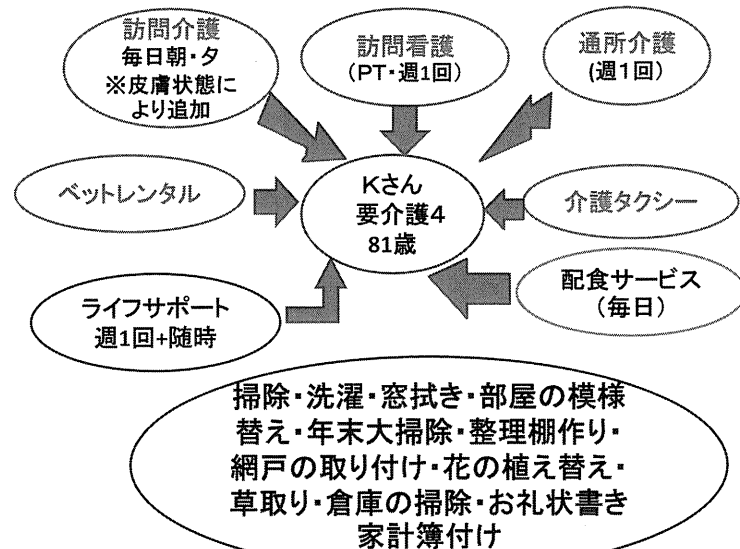
能力評価

意欲

利用者の概要

- Kさん: 女性 81歳 要介護4
- 寝たきり度 C
- 認知症高齢者生活自立度 I
- 疾患名: 慢性関節リウマチ
- 家族構成: 3世帯同居
(離れて1人暮らし母屋に息子家族在住)
- 生活歴: 20代後半で発症 家事・育児を切り盛りしてきた
- ADL: 食事…自力摂取
排泄…尿器・オムツ使用
移動・移乗…車いす
入浴…2/W デイサービスで機械浴
自己決定可能

Kさんのサービス



週間サービス計画表

		月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の活動
深夜	4:00								
	6:00		訪問介護						
昼間	8:00								
	10:00								
	12:00		訪問看護 (PT)						配食
	14:00								
夜間	16:00								
	18:00								
	20:00								
	22:00								
深夜	0:00								
	2:00								

週単位以外 受診時介護タクシー 福祉用具貸与(特殊寝台、特殊寝台付属品、車椅子)